

学校法人相愛学園

理事長 相田 芳久 様

令和5年度

自己評価結果報告書

学校法人相愛学園 焼津幼稚園

園長 相田 早苗

理事長 決裁



令和5年度の園運営についての自己評価を実施いたしましたので、結果をご報告いたします。

主体的な子どもの姿を育てることを園内研修の根幹のテーマとし、今年度は2つの具体的テーマを設けて研修を進めてきました。昨年からの継続である子どもの遊びを充実させるための園庭環境については、期ごとの振り返りはできたものの計画立案とそれに沿った実践という点では十分でなかったという反省が残りました。次年度は、計画の立案についてもう少し具体的に進めたいと考えます。もうひとつの“体幹を育てる”というテーマについては、学年ごとに無理なく継続して取り組める遊びや経験を工夫し進めることができました。次年度は、今年取り組みを踏まえさらに充実していけるよう進めてまいります。

また、全クラス園内公開保育を行い、実際の保育の場面をもとに話し合い、意見を得たりしながら保育の質の向上に努めてまいりました。忙しく限られた時間の中、研修する時間を作っていくことが大変になってきていますが、短時間で効率よく進める工夫をしながら進めていきたいと思っております。

また、近年の子どもの発達の姿が変化してきて、教師側が目指す子どもの姿と実際の子どもの姿とのギャップが大きく、個別対応への比重が増え、難しさを感じている中、教育課程の見直しを進めてきていますが、これも次年度以降継続してまいります。

以下、園長による自己評価、教員の自己評価等について、自己評価結果の報告として提示致します。

具体的な教職員の自己点検・評価については、本年度はクラス担任に、研修テーマについての振り返り、子どもへの自身の関わりを振り返っての考察について、級外教職員は、自らの職務、自身の子どもへの関わりや援助、安全管理について、各自で振り返りを行ったものをまとめました。また、保護者アンケートについては2月の“ようちえん通信”（園長通信）において、子どもの成長や園の運営について自由記述のアンケートを実施しました。

令和6年2月26日

Ⅰ 「教育内容」についての検証結果及び改善策

近年の子どもの姿から体幹の育ちを支えようという園内研修のテーマを設けて取り組んだ。学年ごと、生活や遊びの中で継続して無理なく取り組める経験を計画し実践、振り返りをしながら進めた。少しずつ成果も見られ、次年度も引き続き取り組みたい。もうひとつは、昨年からの継続して、遊びを充実させるための園庭環境の工夫をテーマとして取り組んだが、主に学期ごとの振り返りに終わってしまったことは反省として残る。子どもが十分に遊びこむための時間的なゆとりの捻出、より主体的に遊びが広がるための教師の遊びへの関わり方も課題である。個別の対応を必要とする子が年々増えている現状の中、全体としての保育をスムーズに進めにくい様子も出てきていたり、全体の子どもの姿としてみても、子どもの姿の実態に合わせて保育のねらいを変えていく必要も感じたりと、課題

Ⅱ 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての検証結果及び改善策

未就園の会については、近年、小規模や保育所に通う子が増えていることも有り、参加者が減っているが、それでも楽しみに参加し親子の触れ合いや関わりの一助になればと思う。在園児については、今年度も、個の気になる発達の様子や保護者の子育ての悩み等必要に応じて面談の機会を設けたり、巡回カウンセラーや焼津市巡回相談、地域の相談機関などつないでいけるよう努めた。家庭の事情や教育力も様々で、子の育ちについて共有したり子への関わりについて共通意識を持つのが難しいケースも多い。

Ⅲ 「安全管理」についての検証結果及び改善策

12月に焼津市くらし安全課から講師を招聘し、防犯の研修を実施し、対応について職員間で共有に努めた。また、能登半島大地震をうけ、3学期開始時には、環境の点検を行った。避難訓練では、地震・津波・火災等の対応の違いも伝えながら進めてきた。園内での子どものケガ防止のため、ヒヤリハットの確認を定期的実施するようにした。

Ⅳ 「人事管理」についての検証結果及び改善策

パートも含め勤務体制が様々なので、それぞれに配慮しながら進めてきた。各々家庭の事情等で外出や早退等もしやすいようにカバーし合って進めてきている。長期休暇中の預かり保育について、人材派遣等も活用しながら、職員の負担の軽減にも努めている。

Ⅴ 「財務管理」についての検証結果及び改善策

財務管理については、園児数も減少してきている現状を受けて、施設設備計画も吟味し、節約を心掛けたい。

「外部アンケート」からの検証結果及び改善策

年間の教育行事後に実施している保護者アンケートからは、園の教育や我が子の成長を理解し喜んで下さっている様子が窺えた。園での子どもの様子をもっと知りたいという意見もあり、手紙やHP以外の方法について模索したいと考える一方で、どんな情報を流すのが良いのか、個人情報保護の視点からどこまで挙げるのか、など難しいと感じる点もある。保護者の考え方やニーズも年々多様化、また個別化してきていて、対応の難しさも感じる。